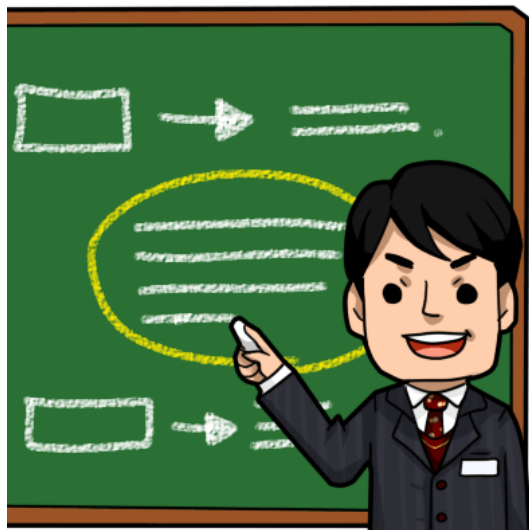


◆工夫例 43 「明確な発問ができるよう授業の発問計画を作ってから授業に臨む」



《国語（高等学校 1 年生）》

教師が発問（板書）ノートを準備し、上段に板書する内容を書き、下段に発問や生徒の予測される反応を書いて授業に臨むと、あやふやな発問をすることがなくなり、子どもの思考を深めることにつながります。授業中に子どもの反応を全て記録しておき、他の学級の子どもの反応を予測したり、他の学級の授業の中で紹介したりすることもできます。

